
大日本男塾

成島信行

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大日本男塾

【Nコード】

N7877F

【作者名】

成島信行

【あらすじ】

かつて存在した私立男塾、そして、後に伝説となる男塾、その二つの間に存在した幻の男塾の物語。

1889年（明治22年）、大日本帝国誕生。大日本帝国憲法發布に補い、国家機密で指導機関が作られる。

その名を大日本男塾。かつて、弘道館へのエリートコースとして作られた私立男塾から、その名は取られた。

それは、軍人の素質のある若者に、大日本帝国憲法を叩き込む事とともに、軍事兵法・格闘技・憲法を授ける事も目的とされていた。かつての私立男塾が弘道館へのエリートコースならば、この大日本男塾は、大日本帝国海軍へのエリートコースとなるはずであった。

1889年、試験的に作られたそこには、江田島國義や矢島賢苦勞や伊集院鷹男や北大路剛士や竹田五兵衛などという後に伝説となる男たちが集められた。

教官には、私立男塾最後の男とされた宮本大氣の子孫である剣公^{けんこ}次^{うじ}が選ばれた。

だが、試験的な開校から数カ月がすぎたとき、ある事件が訪れる。大日本帝国の誕生を危険視した大国たちの連合スパイ組織によって発見されてしまったのだ。

アメリカ・中国・ロシアのスパイからなるそれは、大日本男塾を滅ぼすべく、戦力を送りこむという強攻手段に出る。

塾生たちも応戦するが、さすがに多勢に無勢…傷つき倒れていくしかなかった。

そのとき、塾長の剣公次が進み出る。

「お前たちに最後にこれを教えておこう…漢なら、死ぬまで退くな！」 剣公次は、前に進み銃弾を受けながらも、各部隊の兵器を破壊していった。

剣公次は死んでいった。

剣公次の死後も連合スパイ組織は攻撃をしようとしていたが、中国のスパイ部隊を率いていた拳法家の王欒把はそれを止めた。

「あのような男はザラにいない。そんな男の死を無駄にするというのであれば、私がそれを止めよう。」

王欒把は、若くして中国拳法を極め、世界の格闘家の中でも五本の指に入るとされる実力者であった。

そんな王欒把が敵になる事を考えると、中国はもちろん、他の国も身を退くしかなかった。

戦いは終わり、塾生は、それぞれの道を進んでいく。

1932年（昭和7年）、大日本男塾のあった茨城には、谷田部海軍航空隊が作られる。

それは、剣公次の意志を継いだ塾生たちが彼の意志を次の世代に残すために作らせたものだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7877f/>

大日本男塾

2010年10月8日21時23分発行